

ブナの森に包まれる。

7

平成22年



広報のと
第65号

平成22年7月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町字出津新1字197番地1

☎0768-62-11000(他)
能登町URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

の
能登
と
英国
日和
イギリス

能登町を古里として
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる
フォトエッセイ。



門前町の「禅の里交流館」にて一日だけの展示会をしました。能登へ来てから作った作品の前に座っているのが、ダグ(左)とスティーブです。



能登へ一緒に引っ越して来た我が家のメイ、14歳です。いつも私の猫の作品のモデルをしてくれてありがとう！

「イギリスからやって来たアーティストたち」

6月2日の夜、私のアトリエ「桃花林」の電話が鳴りました。「スティーブさんという方を車に乗せているのですが…。石川県までヒッチハイクで行くって言ってるんですけど…」。

5年前、書を学ぶため、京都府美山町に5カ月間滞在していた画家のスティーブ・ジェント。当時23歳だった彼は「自転車で行く！」と言って、実際のところロンドンからプラハまで自転車で行き、ロシアからシベリア鉄道でウラジオストクへ。そこからフェリーで富山県の伏木港に着きました。

29歳になって少しは大人になったのか、今回はおとなしく飛行機で来てくれましたが、成田空港から能登まではヒッチハイクでした。今は両親のアトリエ「五友宿」で創作活動をしています。

私のアトリエ「桃花林」には、スティーブと私の共通の友人、木工作家のダグ・キングスミスがいます。彼は33歳の誕生日を内浦長尾で迎えました。「桃花林」の庭にダグのアトリエが出来ていて、毎日チェーンソーで立体の作品を作っています。

二人とも2010年秋の展示会に作品を出展するため、能登へ来て、作品を作ってくれています。

彼らが能登をどう感じ、その思いがどう作品に表れるのか楽しみです。



室谷文音(むろや・あやね)

昭和55年大阪府生まれ。13歳で渡英し、名門セントラル・セント・マーティン美術大学を卒業。平成18年に両親と共に京都府美山町から移住。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。現在は次の展示会に向けて作品を制作中。



『ねこはかぞく』

